

平成 18 年度財団法人農学会事業計画

本財団の寄附行為に従って、以下の事業計画を立案する。

1. 学術研究業績の表彰

- 1) 本財団が主体となる事業：若手研究者に対する顕彰を行うため「日本農学進歩賞」の制度を実施。
- 2) 本財団が協賛する事業：アジアの獣医学大学の学部在籍する若手、中堅研究者に対する顕彰を行うため「アジア獣医科大学協議会賞」の制度を協賛。

2. 農事に関する重要な事項の調査

1) JABEE 技術者教育プログラム審査及び審査員養成事業

平成 18 年度は 2 校の JABEE 技術者教育プログラム（農学一般分野）の中間審査および 2 校の JABEE 技術者教育プログラム（農学一般分野）の現地相談（普及指導活動）を実施する予定。

その他に平成 18 年 7 月 29 日（土）弥生講堂において JABEE 審査員養成研修会を実施する。

5. 学術講演会の開催

1) 本財団が主催する学術講演会：

第 6 回財団法人農学会公開セミナーを夏に、第 7 回財団法人農学会公開セミナーを冬に開催する予定。

2 本財団が協賛する学術講演会：

第 30 回（春開催）、31 回（秋開催）東京大学農学部公開セミナー

（東京大学農学生命科学研究科主

催）

4. 印刷物の刊行（電子情報の提供を含む）

1) 第 5 回日本農学進歩賞受賞者講演要旨集刊行。

年 1 回、300 部（約 50 頁）

2 農学・農学関連分野（農学系学部、学術団体等）の情報発信と情報交換を促進するためホームページの作成、改良、運営等を支援。

3) 「農学総合大百科事典」（仮称）の企画協力。

5. その他目的を達成するために必要な事業

1) 研究棟でもある弥生講堂の運営を専門的立場から支援する。

2) 弥生講堂一条ホール内で開催される講演会等で使用する機器類の貸出業務。